

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

特別支援員設置事業

事業の経過・背景・課題

本町には6小学校、2中学校があり、令和6年4月には1,180人が在籍している。その内、支援学級に49名、普通学級に在籍しているものの通級指導を受けている児童生徒が193名と数多く在籍している。また、小中学校で発生している問題事象のうち、7～8割は特性や支援学級在籍で支援の必要な児童生徒の事象となっている。

取組内容

交付実績額： 4,890 千円

学校毎に児童生徒の状態に応じた支援員の配置を行うため、町特別支援委員会を含めて検討し、必要最低限の特別支援員を配置している。

※各小中学校に38名の支援員を配置



事業の成果・今後の展望等

特別支援員の配置により、個々の認知特性や教育的ニーズを的確に把握し、「個別最適化した学び方」や「指導の個別化」を進めることが出来た。引き続き、学級満足度調査（※）を活用した制度の高いアセスメントを基にした支援を行うことで、誰もが安心して学べる学級経営と、すべての児童生徒が「できる実感」がもてるユニバーサルデザイン化された授業づくりに努める。

（※）学級満足度調査（Q－U）

早稲田大学の教授が開発された心理テスト。各児童生徒の意欲や満足度、学級集団の状態を検査することができるもので、教師の考えている現状と実態のズレを把握することや、不登校・いじめ被害も早期発見することができる。

この結果を基に、教師はこれまでの指導を見直し、問題解決に向けて学級経営や授業改善を行っている。与謝野町では、全児童生徒を対象に年2回実施。また、その結果を基に、学級満足度調査活用推進委員会を年に4回開催。その中で研修（講義・演習）を行い、本調査をしっかりと活用することができるように努めている。

問い合わせ先

与謝野町教育委員会学校教育課（0772-43-9025）